



水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち

YOSANO

広報 よさの

No. 72



●主な記事

- 02 よさのランナー
- 04 町営バス
- 08 与謝野町成人式

●今月の表紙

与謝野町成人式（1月8日撮影）

2012

2

世界で全国で輝いた “よさきのランナー”

印象深いレースと語ってくれたのは、昨年10月に出場した山口国体の5000m。「あまり調子は良くなかったので早いタイミングで前に出られなかつた」と振り返る西原さんですが、ラスト2周でスパートして先頭に立つとそのまま順位を譲らずゴール。「いい選手がそろって中で優勝てきて、自信になつた」と、県事国体初優勝を果たし、自己ベストBも突破しました。

昨年は、佛教大学を卒業し、ヤマダ電機に入社。新生活がスタートしました。学生

から社会人へ、環境の変化にどうぞともありますなが、1月、3月には足の故障もあり、春は調子が上から下り下りしました。

新生活にも慣れ、会稽で走りこんだ夏を経て、「秋は良く走れたと思う」と言うよう

に、「秋には次々に好結果を残します。9月の全日本実業団選手権には1万mで自己

ベストを更新しての優勝、10月の山口国体での優勝に加え、11月の国際女子駅伝では2区で区間賞・区間新記録の快走、3人を抜く大活躍を見せ、「日本代表としてのアレッシャーの中での結果が残せたのは今後につながる」と語ってくれました。

1月15日には、京都代表として全国女子駅伝に出場。キャプテンも任され「走りでチームを引っ張りたい」と臨んでレースでは、アンカーとして2位でだすぎを受け、大阪チームを追いつけなかつた優勝を目指していたので残念」と振り返り、實績を語ります。

今年は8月のロンドン五輪に向か、「選考レースに照準をあわせて、オリソビック出場を目指したい」と目標を語ってくれた西原さんの今後の活躍に期待です！

にじはらかずみ 平成元年生まれ。現在ヤマダ電機陸上部所属。昨年は長距離をリードする活躍をみせ、今年のロンドン五輪を目指す

西原加純さん 山口国体 5000m で初優勝！



1月15日、日本中を沸かせた第30回全国都道府県対抗女子駅伝。
3人の与謝野町出身ランナーが都大路を駆け抜けました。
まちを飛び出し、全国、そして世界の舞台で活躍する彼女たち—。
その活躍と今後の目標について聞きました。

Interview



あきらめなくてよかつた

去年11月20日、3回目のマラソン挑戦で念願の初優勝を果たした横浜国際女子マラソン大会を木崎さんはこう振り返ります。

当日は季節はずれの高気温にペースメイカーが予定より早くリタイアするなど厳しい条件となり、上位陣はけん制しあう展開に。「記録は狙えないでの順位を狙つた」という木崎でしたが、残り2kmで競り合っていた尾崎選手が先にスパート、いつたんば離されるも、残り1kmを切った地点で木崎さんもスパートすると驚異的なペースを貢せて追いつき、そのまま抜き去つてゴール！見事な逆転優勝を果たしました。「以

抜けなかつた」と自熱の競り合いを振り返ります。

実は昨年の大阪国際女子マラソンからおよそ1年ぶりの公式戦。この1年、特に前半は足の故障に悩まされ、練習もレースもままならない時期が続きました。しかし、マラソン出場に向けて夏の合宿で走りこみ、9月には5000mの自己新記録をマーク。「非公式のレースだったが、自信が持てた」と調子を取り戻し、マラソン初優勝へつながりました。

「一度しかレースに出られなかつたのが、そこで結果を残せたので満足のいく1年だった」と総括します。

1年明けには全国女子駅伝に大阪の1区として出場。マラソン出場後に

実業団駅伝にも出場するなど毎日も

あり、足の状態がよくなれないが、激戦を制しての区間賞。「調子がよくなかつたので、あまり狙つていなかったことで、ゴーリルの瞬間までまつたく気が持つた」と語る木崎さんですが、

持ち前の負強さを見せ、チームを19年振りの優勝に導きました。

「両親は2人とも競技をしていて、走りたい。いつも応援に来てくれるのでも嬉しい。もっと姿を見せられるように活躍したい」と両親や地元の人が声をかけてくれるのがとても嬉しい。もつと姿を見せてくれました。

3月に出場選手が決定するロンドン五輪マラソン日本代表出場が期待される木崎さんは、「今年はマラソン一本で頑張りたい」と抱負を語つてくれました。

さきさきりょく 国際印生まれ、下田出身。佛教大からタイへ入った4年目。昨年は横浜国際女子マラソンで初優勝。今年はマラソンでロンドン五輪を目指す

木崎良子さん

3度目のマラソンで 念願の初優勝

大江悠美さん 全国女子駅伝初出場



初めての全国レベルの大会の出場がいきなり全国女子駅伝となつた大江さん。何かもが初めてという緊張のなか、まずははらかずみ 平成元年生まれ。現在ヤマダ電機陸上部所属。昨年は長距離をリードする活躍をみせ、今年のロンドン五輪を目指す

ための練習で走りを見せてくれました。陸上部での大江さんを知る人はそうつて、彼女のことを「とてもかんぱり屋」と言います。陸上部の練習に加えて時間を見つけては自主練習で走りこみ、1年間で3000mのタイムを1分ほど縮める急成長をみせ、昨年11月に出場した選考レースで10分1秒の好タイムをマークして京都チームに選出されました。

今年の京都チームは若い選手が多く修学旅行みたいで楽しかった」というチームの合宿は、「すごい選手と一緒に練習できてとても勉強になつた」と多くを得るものになりました。最終合宿で正選手が発表され、「チ

ームに選ばれたときも驚いたが、選手として走ることになつたときはかなりびっくりした」と言う大江さんは京都チームの8区を任せられ、アンカーの西原さんにだすぎをつけながら走りました。

陸上部での大江さんを知る人はそうつて、彼女のことを「とてもかんぱり屋」と言います。陸上部の練習に加えて時間を見つけては自主練習で走りこみ、1年間で3000mのタイムを1分ほど縮める急成長をみせ、昨年11月に出場した選考レースで10分1秒の好タイムをマークして京都チームに選出されました。

「いろいろな大会で新記録を作りたい」と今後の目標を語ってくれた大江さん。今後さらなる活躍を見せてくれることでしょう。

おねえやみ 平成9年生まれ。後野町出身。場するなど地元特有のナ

■表彰者の皆さん（一部抜粋・敬称略）

○京都府消防協会活動功勳
白数忠之／本部／本部付分団長
吉田信一／本部／本部付分団長
○京都府消防協会精勤章
足谷義徳／立川市／消防課長
元和嘉徳／豊島区／分団長
力野弘／新田川③／分団長
○京都府消防協会義徳賞
足谷義徳／立川市／消防課長
元和嘉徳／豊島区／分団長
力野弘／新田川③／分団長
○京都府消防協会表彰
成毛正裕／藤井田山／消防課長
克彦／眞理／眞理／消防課長
明和／眞理／眞理／消防課長
○京都府消防連絡協議会後プロック
小川克彦／眞理／消防課長
大輔／眞理／眞理／消防課長
篠原新田川④／班長
○京都府消防協会会員表彰
糸井半津／中野／消防課長
小牧弘／中野／消防課長
○京都府消防協会会員表彰
宮津与謝支部長表彰
小牧弘／中野／消防課長

がんばってます！消防団

編集●消防団本部

平成24年与謝野町消防団出初式
一年間の安心・安全を誓う



■与謝野町消防団は、
「めざそろひ災ゼロの町」を
合言葉に今年も頑張ります

平成24年与謝野町消防団出初式
が1月8日、生涯学習センター知遊
館一帯で開催され、消防団員と消防
関係者らおよそ300人が参加しま
した。

式典では、澤田尚登団長が『火
災ゼロのまち・与謝野町』を目指し
て徹底した予防消防を一層展開し
なければならない。いつ起こるかわ
からない火災や自然災害に常に備え、
町民の安心・安全のため、『我々町
は我々が守るんだ』という精神で頑
張ってもらいたい』と団員たちに訓
示しました。

また、大田實美町長からは『め
ざそろひ災ゼロの町』を合言葉に、
全団員一丸となつて、消防団活動に
積極的に取り組んでもらいたい』と
激励を受けました。

その後、功労者や優良団員に表
彰が伝達され、退職消防団員や民間
協力者に感謝状が贈呈されました。

式典終了後には、団員らは恒例の
『分行列進』と『一斉放水』を披露し、
多くの地域の皆さんが見学に訪れま
した。

出初式をとおして団員たちは今
一年間の安心と安全の誓いを新たに
していました。

①訓示した澤田団長
②表彰を前
面に飾れるする団員たち
③阿蘇シード
④サイドバーでの一斉放水
⑤おさつする太田町長分
⑥乗船抹を受け取る団員



出初式
フォトギャラリー

3/1~7

平成24年度
春季全国火災予防運動
●平成23年度全国統一防火標語
「消したはず
決めつけないでもう一度」





◎写真特集 与謝野町成人式

新成人と迎える 門出

成人的門出を祝う
「平成24年式典」が1月8日、
町成人式が開催されました。今年の対象者は平成3年4月2日から平成4年4月1日生まれの290人で、この日は振り袖やスカート、羽織袴に身を包んだ231人が式典に参加しました。会場には旧友どきの久しぶりの再会を喜ぶ新成人たちの笑顔があふれました。

式典では、太田貴美町長が「若者らしく正々堂々と努力と挑戦をし、自分でしなければならないことを自覚し、自分の道を切り開いてほしい」と式辞を述べ、来賓からもはなむけの言葉が述べられました。

その後記念品の丹後ちりめんふくさセットが、から新成人代表の梅本朋賀さん(岩瀬)に贈呈されました。最後に、大浦慎太さん(加悦)が、「大人としての一歩ですが、絆の強さを大切に歩む道のりに責任を持ち、日本の未来に向け仲間とともに頑張りたいと思います」と方強く決意を込めて講辞を述べました。

1.煙上で講辞を述べる大浦慎太さん
2.筆やかに振り袖姿と明るい笑顔が印象的な8人組
3.式典中の新成人たち
4.会場のいたところで記念撮影をする新成人の姿が見られます
5.日友との自然な笑顔が印象的
6.元気な笑い声が印象的
7.笑顔で集合写真に収まる新成人たち
8.お祝いの言葉に聞き入る新成人
9.式典が終了し晴れやかな笑顔の3人組
10.地域別に行われた記念撮影



は、日本の料理が大好きです！日本に来る前、口アンドンではよく、日本の食べ物を買い、友達と日本のレストランに行っていました。日本に来てから、多くの新しいものを見てきました。たこ焼き、そば、たい焼き（小豆は初めて！）、日本食は何でもおいしいです。が、お好み焼きなど広島焼きが一番好きです。どはいうものの、ときどきイギリスの食べ物も懐かしくなります。今日は、イギリスの食べ物について話します。

イギリスで一番有名な食事はローストディナー（Roast Dinner）です。いつもロースト肉があり、鶏肉と牛丼が人気ですが、豚肉や羊肉、カモ肉も食べます。クリスマスは、七面鳥です。毎週日曜日は家族と一緒に、にんじん、グリンピース、ブロッコリー、ローストポテトカブやスタッフィングに、グレイビーソースをかけて食べます。「日曜日の昼ごはん（Sunday Lunch）」と呼んだりしています。最近では、ローストディナーはちょっと珍しい食べ物になつたでしょうか。特別なときだけ食べます。

ローストディナーは有名な食べ物ですが、人気があるわりではありません。今人気があるのは、インドのカレーです。イギリスにはインド料理のレストランがたくさんあります。



● 今月のオススメの1冊
猫にまつわる本



【『ローストディナー』
西原英男著
角川文庫】



【『男前猫』
新野栄子著
河出書房新社】

私は、日本の「カレーライス」とは全然違います。インド料理のレストランは、芳いごはん、辛い野菜、ナンやフレーを売っていて、大好きです。イギリスではメインコースの後で、甘いデザートを食べます。アイスクリームやヨーグルト、ケーキや菓子など種類も豊富です。僕が一番好きなのは、「トライフル（Trifle）」という伝統的な食べ物で、大きなボウルで作ります。最初、スポンジケーキとゼリー、次はいちごジャムとカラスタード、そしてホイップクリーム、最後は果物とナツツで飾ります。本当においしくありますよ！

イギリスのことわざに、「朝ご飯は王様のように、昼ご飯は王子様、晩ご飯は貴婦人に」というものがあります。朝ごはんは「フライアップ（Fry-up）」というものがあり、ベーコン、卵、パン、トマト、キノコ、ソーセージ、ベイクドビーンズや魚で作る料理です。量が多くて大変です！昔は炭鉱で働く人が多く、労働者はエネルギーが必要だったので、仕事前にたくさん食べていましたが、最近ではあまり食べなくなりました。この食事は、値段がとても高く、健康にも悪いですか？僕の朝ごはんは、小さいボウルにコーンフレークと牛乳がいいです。王様ではありませんよ！

時の贈り物 「第59回 霊岩寺のコブシ」



春 まちの文化財

コブシは、私たちを樂しませてくれますが、皆さんにはコブシといふ木をご存知でしょうか。コブシは古来治の斜面に樹生していることが多い木で、コブシの開花が農作業を始める一つの目安になつてゐました。

与謝野町には、靈岩寺境内の裏庭東手に、西日本では珍しい大きなコブシがあります。

コブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

霧岩寺のコブシは、モクレン科に属し、早春、にぎり拳状のつぼみをつけ、芳香のある白い六枚の花弁の大花を咲かせます。

● 今月のオススメの1冊
猫にまつわる本



【『ローストディナー』
西原英男著
角川文庫】



【『男前猫』
新野栄子著
河出書房新社】

【『男前猫』
新野栄子著
河出書房新社】

【『ねこの根子さん』
あさのあつこ著/講談社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



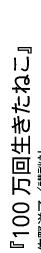
【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



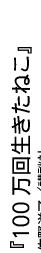
【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



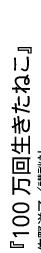
【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】



【『ねこの根子さん』
新野栄子著
河出書房新社】





無料ギャラリーを毎月開催

西原信明さん 地域の魅力を発信！

Vol.30

も新鮮な気分
になつてもら
いたい、「作
家さんたちや
ギャラリーを
訪れる人たち

との出会いや
会話、作品にこめられた作者
の思いなどを感じながら、遊
び心のある空間を楽しんでも
らえます」と続けています。近

ギヤラリーに入ると、部屋
中に所狭しと並べられたユ
ニークな手作り和だご約50点
が出迎えてくれました。

与謝峰の麓の「喫茶＆無

り絵など多種多様。

オーナーの西原さんが、近隣
の作家やサークルが制作した
さまざまな作品を月ごとに展

示して、その魅力を紹介して
いる。これまでに紹介した
作品は、1月に展示した和だ
ごをはじめ、パッチワークや
陶芸、裂き織り、押し花、切

年は夫婦でギャラリー巡りを
するのも楽しみになつていて
います。

語る西原さんがギャラリーを
始めたのは2年ほど前。「常
に変化して、再び訪れた人に
勤めていた頃よく通つた喫茶

店の雰囲気に惹かれ、20歳く
らいから喫茶店を自分で開
きたいと夢見ていた」という
西原さん。31歳で念願の店を開いて以来、多くの人と出会
いに支えられての約30年を「本
当にあつと」言う間でした

その中で、「遠くからやつ
てきた多くの方に、ここは
自然が豊かで景色が大好き。
ほつとできる良い所ですねと

よく言われます。そんな声を
多く聞いているうちに四方を

山に囲まれた与謝野町がとて
も美景な地域なのだとあらためて気づくことができまし

た」と語ります。最近は、野鳥
観察や写真などの趣味を通してまちの魅力を追いかけて

いるそうです。

また、ギャラリーで地域の
人の作品を紹介するだけでは
なく、自らも作品を制作・展示

しています。「最初に描いた
鷹の作品がとても好評だった
ので、一気にのめり込んだ」
というバーニングアート。木

板をはんだじてで焦がして描
させてくれました。



Profile にしはら のぶあき

昭和27年2月生まれ、59歳。京都市からリターン後、丹後ちりめん業、手描き友禅等を経て、昭和59年に喫茶もくを創業、平成22年からは無料ギャラリーでさまざまなアート作品を紹介、今に至る。ギャラリーの詳細については喫茶もく（☎43-1334）まで

「高校卒業後、京都市内に勤めていた頃よく通つた喫茶店の雰囲気に惹かれ、20歳くらいから喫茶店を自分で開きたいと夢見ていた」という西原さん。31歳で念願の店を開いて以来、多くの人と出会いに支えられての約30年を「本当にあつと」言う間でしたね」と振り返ります。

その中で、「遠くからやつてきた多くの方に、ここは自然が豊かで景色が大好き。ほつとできる良い所ですねと



上／1月に展示した和だご。ユニークな作品が並びました 下／西原さんのバーニングアート作品。繊細で美しいタッチが目を奪います